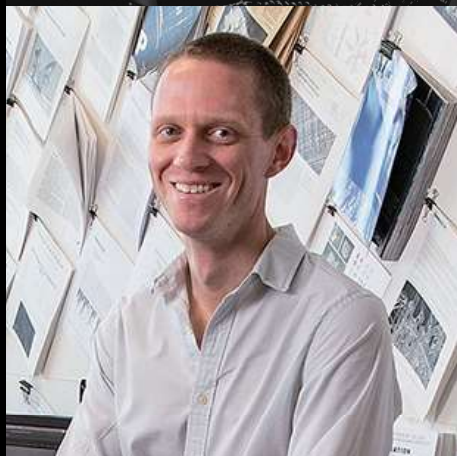
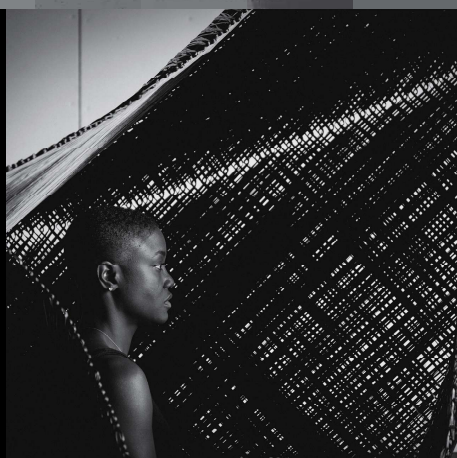


Pre-Opening Lecture series

デジタルによる人間環境をとりまく教育、研究、実践のための D-Be 部門が人間環境学研究院に新設されました。
オープニング・イベントとしてデジファブと AI を応用している 3 名の講演者を招聘し、レクチャーシリーズを開催いたします。
※詳細は各テーマのポスターをご覧ください。

01 ロボティクスによる新しい建築造形



Andrew John Wit

テンブル大学准教授。WITO 共同設立者。複合的な材料とロボティクスによる建築システムに焦点を当てて発表してきた作品は、国際学会や査読付出版物で取り上げられ国際的に評価されている。

8/2 (Fri)

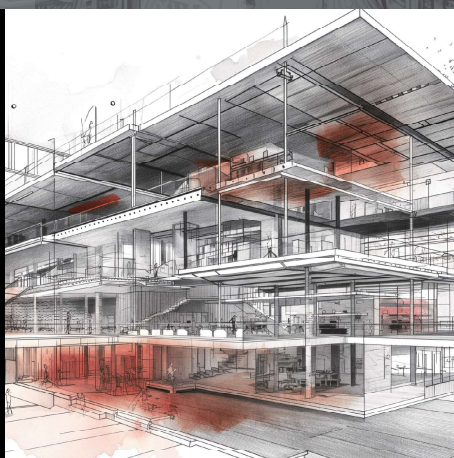
10:00-12:00

九州大学伊都キャンパス

イースト 1 号館 3 階会議室 1

A-339

02 建築と画像生成 AI



Andrew Hawkins

テキサス A&M 大学建築学部の実務助教。ホーキンス・アーキテクチャ社の主任建築家。より良い建築、より良いサービスを提供するためのツールとして技術を捉え、実務に応用する。AI によるパースもツールの一つとして位置づける。

8/4 (Sun)

10:00-12:00

Zoom ウェビナー (無料)

03 風土と都市・建築の持続可能性



Korbinian Enzinger

インスブルック大学上席講師。エツィンガー設計事務所の建築家。ecoLogicStudio (ロンドン) において、ヴェネチア・ウィエンナーレの出展、ボンビドウ・センターの常設展示出展の経験を積む。

8/6 (Tue)

10:00-12:00

九州大学伊都キャンパス

イースト 1 号館 3 階会議室 1

A-339

【お問い合わせ先】

小川拓郎 (人間環境学研究院 D-Be 部門 准教授) ogawa@dbe.kyushu-u.ac.jp

九州大学イーストゾーン 1 号館 B-428

レクチャー 02 「建築と画像生成 AI」のオンライン受付は

下記 URL または右欄の QR コードをご確認ください

<https://dbe-kyushu-u-event001.peatix.com/view>



Pre-opening lecture I 「ロボティクスによる 新しい建築造形」

“Range” ほか



アンドリュー・ジョン・ウィット
(テンブル大学准教授)

テンブル大学准教授。学際的研究グループ wito* およびインテリジェント環境研究所の共同創設者。複合材料とロボティクスなどの最新技術を通じて生成された新しい建築システムに焦点を当てた研究をリード。

書籍「Towards a Robotic Architecture」は、2018 年の Architects Newspaper の最も優れた技術書に選出。共同プロジェクト「UTenSails」は、2007 年のアメリカ建築家協会による Advanced Fabrics Exhibition での Best of Practice Award、2007 年の国際産業ファブリック協会による Outstanding Achievement Award をそれぞれ受賞。「Underwood Pavilion」「rolyPOLY」「cloudMAGNET」「Dinner for Six」など、多数の作品・プロジェクトを手掛ける。

「I, Nobot」の共著者、「Towards a Robotic Architecture」および「Recalibration: On Imprecision and Infidelity」の共編者、コンピュータ支援建築デザイン協会 (ACADIA) の 2018 年会議論文集およびプロジェクトカタログの共編者。ACADIA の理事会 (二期)、科学委員会議長を歴任。国際建築計算学ジャーナルの編集委員、建築科学レビューの特別号の共同ゲスト編集者、そしてジャーナル・コンストラクション・ロボティクスの副編集者。

8/2 (Fri) 10:00-12:00 (会議室 1) @ イースト 1 号館 A-339

本講演では、DX が話題になる以前より最新技術の建築分野での応用を試みているアンドリュー・ジョン・ウィット教授 (テンブル大学) を招き、ウィット教授とその共同研究者による、アート、建築、材料科学、ロボット工学、AI の各分野にまたがる学際的な研究、プロジェクト、出版物の過去 10 年を振り返ります。

レクチャーの後半では、ウィット教授とのディスカッションにとどまらず、希望学生の演習などによる作品・成果物へのミニ講評を実施いたします。

デジファブによる建築造形とその可能性を知る貴重な機会になりますので、是非ご参加ください。

【レクチャー内容】

10:00-11:00 「Range - 建築分野における学際 -」
アンドリュー・ジョン・ウィット (テンブル大学准教授)
※UD トークによる字幕 (日英) 同時通訳表示あり

11:00-11:30 建築におけるロボティクス・AI に関するウィット先生とのディスカッション
※気軽にディスカッションをお楽しみいただけるよう通訳 (日英) のサポートを準備しています。

11:30-12:00 希望学生を交えたミニ講評会

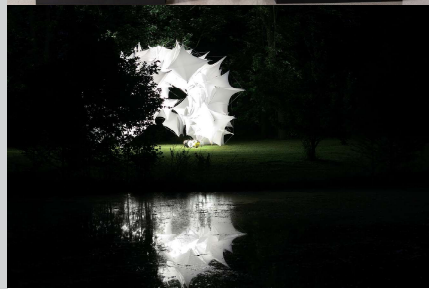
※希望学生は事前にお問い合わせください。詳細は右欄に記載しております。

D-Be 部門 (人間環境学研究院に新たに設置された部門) では、オープニング・イベントとして、以下の 3 つのテーマによるレクチャー・シリーズを開催します。

テーマ I 「ロボティクスによる新しい建築造形」 8/2 @E-A-301 10:00-12:00

テーマ II 「建築と画像生成 AI」 8/4 @ オンライン 10:00-12:00

テーマ III 「自然界の浸食と持続可能な都市・建築」 8/6 @E-A-301 10:00-12:00



【ミニ講評会発表者募集！】

QR コードの登録フォームから応募ください。

応募〆切：2024 年 7 月 26 日 23:59 まで

講評対象：設計演習や卒計などの成果物

※注意事項

3 名程度の発表者を予定しますが、多数の応募があった場合は、アップロードされたファイルによる書類審査の上、発表者を決定いたします。

【お問い合わせ】小川拓郎 (人間環境学研究院 D-Be 部門 准教授)
ogawa@dbe.kyushu-u.ac.jp





Pre-opening lecture II 「建築と画像生成 AI」



アンドリュー・G・ホーキンス
(テキサス A&M 大学助教)

テキサス A&M 大学建築学部の実務家助教、AIA 所属、LEED AP、NCARB 所持。テキサス A&M 大学卒（学士 [環境デザイン]）、オレゴン大学（修士 [建築学]）。ホーキンス建築設計事務所（Hawkins Architecture Inc.）主任建築家。共同ホストであるボッドキャスト「Life of an Architect」は現在 130 万回以上のダウンロードを記録している。

D-Be 部門（人間環境学研究院に新たに設置された部門）では、オープニング・イベントとして、以下の 3 つのテーマによるレクチャー・シリーズを開催します。
テーマⅠ「ロボティクスによる新しい建築造形」8/2 @E-A-301 10:00-12:00
テーマⅡ「建築と画像生成 AI」8/4 @オンライン 10:00-12:00
テーマⅢ「自然界の浸食と持続可能な都市・建築」8/6 @E-A-301 10:00-12:00



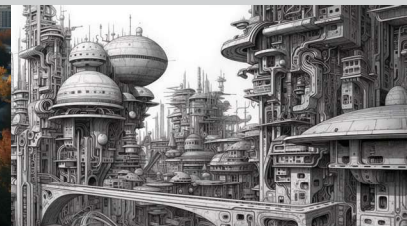
プロンプト例：
a section perspective architecture drawing, large office building with a central atrium space, line drawing, black ink with red ink for emphasis, designed like Renzo Piano, highly detailed, BIM, wall poche, structural systems



プロンプト例：
Texas vernacular house, realistic architectural rendering, BIM, sunny summer day, rural setting



プロンプト例：
An aerial view of a museum in a city, busy streets, fall day, modern architecture by Tom Kundig, stone facades, warm color palette, solarization, photorealistic



プロンプト例：
futuristic modern architecture, highly detailed, ink drawing

8/4 (Sun)

10:00-12:00

オンライン（無料）
zoom ウェビナー
申込方法：下記 URL より

プロンプトからプロジェクトへ：建築実務にもたらされる AI の衝撃
アンドリュー・G・ホーキンス

レクチャー構成

1. はじめに
2. 建築における技術導入の歴史的背景
3. 生成 AI モデルの出現
4. AI プロンプティングの能力開発
5. AI による概念的反復の促進
6. AI による生産スピードの向上
7. AI 開発への関与
8. 建築における AI の将来
9. おわりに
10. 生きた AI の反復
11. 質疑応答とディスカッション

※藍谷銅一郎准教授（テキサス A&M 大学）による日英逐次通訳あり

本講演では、2012 年より建築分野でモバイルアプリケーションの応用と教育に携わってきているアンドリュー・G・ホーキンス教授を招き、建築分野における画像生成 AI の応用について考えます。氏は 20 年以上の実務経験を積んでおり、2022 年から生成 AI の建築分野での応用に取り組んできています。

本レクチャーはこれから画像生成 AI を学び始めようと考えている方、既に応用されている方にとって、米国で既に応用されている事例や方法論を学ぶ上での入門として位置付けています。

この機会に画像生成 AI の概要を学んで実際に触れてみて、是非 4 か月後により深い画像生成 AI の世界に踏み込んでみませんか？建築分野に限らず、画像生成 AI でより質の高い建物のイメージを生成したい方は、是非本レクチャーにお申込みください。

【申込方法】

下記 URL または QR コードからお願いいたします
<https://dbe-kyushu-u-event001.peatix.com/view>



Pre-opening lecture II 風土と都市・建築 の持続可能性

【レクチャー内容】

本レクチャーでは、微生物や動植物から地形に至るまでの、自然界で自発的に形成されるパターン形に着目して都市形成のダイナミズムとの関連づけを試みているコルビニアン・エンツィンガー上級講師（インスブルック大学）を招き、持続可能性を念頭においた都市の新しい見方について考えます。単一の要素（パラメータ）によるフラクタル・パターンだけでなく、二つ以上の要素の相互作用によるチューリング・パターンのメカニズムを応用した AI によるパターン形生成についても取り上げます。

10:00-11:30 「Patterns of Territorial Occupation
- 土地を埋めつくしていく模様 -」

※UD トークによる字幕（日英）同時通訳表示あり

11:30-12:00 都市・建築におけるロボティクス・AI・バイオテクノロジーに関するエンツィンガー先生とのディスカッション

※通訳（日英）のサポートを準備しています

8/6 (Tue)
10:00-12:00

@ イースト 1号館 A-339

(会議室 1)



コルビニアン・エンツィンガー
(インスブルック大学上級講師)

エツィンガー設計事務所の建築家。

ecoLogicStudio（ロンドン）において、ヴェネチア・ヴィエンナーレの出展、ポンピドゥ・センターの常設展示出展の経験を積む。

自然物に由来するパターン形やパラメトリックデザインに興味ある学生だけでなく、持続可能な都市モデルに興味のある学生、デジfabやAIに興味がある学生など、分野を問わず幅広くご参加ください。

D-Be 部門（人間環境学研究院に新たに設置された部門）では、オープニング・イベントとして、以下の3つのテーマによるレクチャー・シリーズを開催します。

テーマⅠ「ロボティクスによる新しい建築造形」8/2 @E-A-301 10:00-12:00

テーマⅡ「建築と画像生成 AI」8/4 @ オンライン 10:00-12:00

テーマⅢ「自然界の浸食と持続可能な都市・建築」8/6 @E-A-301 10:00-12:00